



性は多様 ～全国隣保館職員四国ブロック研修会 から～

ある子が、5歳の時に保育園でパンツを貸してもらったことがあった。「〇〇ちゃんごめんな。〇〇ちゃん女の子やのに、今日な、保育園に男の子のパンツしかないんよ。この男の子のパンツ穿いてくれる？」

先生はすごく謝りながら貸してくれた。でも、その子はそのパンツを貸してもらってすごく嬉しかった。「何で先生こんなに謝るんやろ？」と思いながら穿いて帰った。嬉しくてお母さんに「見て見てきょうこのパンツ穿かしてもらえてん。」と見せると、「あんた女の子やのに、男の子のパンツ貸してもらたらあかん。」とメチャ怒られる。自分はこんなに嬉しいのに、先生はメチャ謝まるし、親はメチャ怒る。なんかこのことについて、嬉しいという気持ちは言ったらアカンことなんやと思い、見えない箱をつくって、その気持ちをその箱に入れて蓋をして鍵をした。周囲に分からないように小学校、中学校、高校と女子として通い、短大で「自分を生きてえんやで。」と言ってくれる大人の人に出会い、今男性の保育士として働いている。

これは、記念講演「どんな性の在り方も排除されない園・学校・職場・地域とは？」のなかの一例です。

さらに講師の先生は、次のように話しています。

見た目ですぐに決めない、見た目でその人の性は分からないし、その人の性はその人が決める大事なもの。私も保育士をしてきて、一人一人の子どもを大事にしてきた。しかし自分の保育の中に、「性は多様である」という視点はなかった。さっきパンツを貸すという話をしたが、きっと私も「〇〇ちゃん、女の子やのにごめんな。」と貸してたんと違うかな。もし私が「性が多様である」ということに出会って保育ができてたら、「今日は選ぶパンツがなくてごめん。」って言う。大人である私がその子の性を勝手に決めて「ごめんな。」と謝ると「今日は選ぶものがなくてごめんな。」と言うのでは大きく違うと思う。だから、私の声かけで、「先生のそれ嫌やな。」と思った子もきつといてたと思う。その時は自分の当り前を押し付けるつもりがなくても押し付けていた。

私自身、LGBTに関する講演を聴いたり、ははきぎほうせい 帚木蓬生の本に出会ったり、少しずつ学ぶ機会が増えてきましたが、つい最近まで性的マイノリティーのことについて無関心

であったし、多様な性があることについて無知であったと思います。性自認とか性的指向は教育や躰で変わらないということもよく分かっていませんでした。

私が今まで関わってきた生徒や友達や出会った人たちはそれぞれ多様な性を持って生まれてきています。それなのに決めつけた、偏った性知識で、〇〇ちゃんが、鍵をして閉ざしたように、傷つけ、押し付け、封じ込めてしまうような残酷な言動をたくさんしてきたに違いありません。さらに最悪なのは、この事実に関心も気づかず過ごしてきたことです。

だから、今まで70年間も生きてきて、多様な性について相談されたり、打ち明けられたりという身近な出会いが一度もありません。今回の講演は、私の無知、無関心、日頃の振る舞いが、多様な性のなかから一部の性を排除し、身近にいるはずのその人たちをいらないものにしてきたことに改めて気づかせてくれました。

最後に、講演で紹介された子どもたちの声です。

- 僕は一歩さん（講演講師）が話してくれた逆です。僕は何で女の子じゃないのと思いました。僕は4年2組の〇〇さん、男の子が好きです。優しくてタイプの人です。僕は3年の時スカートををはきたいなと思ってました。女子になりたいなと思いました。でも僕は当然なれないなと思いました。今日一歩さん近ちゃんのおかげで恥ずかしくありません。（小4）
- 僕は話の中に出てきた人と同じように人を好きになることができず。なので2年生の時に〇〇は〇〇が好きという話をよく聞くようになると、自分だけ変なのかなと思うようになりました。今日話を聞いて自分だけじゃないと聞いて安心しました。（小5）
- 今日話を聞いて深く考えさせられました。私の親はセクシャルマイノリティーの人たちのこと、特に同性を好きになる人のことを、信じられない気持ち悪いと受け入れがたく思っています。両親が学生だった時代には、今の私みたいに性について考える機会も少なかったからそんなふうに思うのかなと思いました。私は好きな女の子がいます。もしこのことを親が知ったら、私のことを気持ち悪いと思うのでしょうか。このことを誰にも言っていないけど、今日一歩さんの話を聞いて自分に嘘をついて生きていく必要はないんだと思わず少し気持ちが楽になりました。（高1）

（館長 村上正哲）

第27回

土居隣保館まつり

会場：土居隣保館

しこちゅ〜が
やってくるよ!



日時

3月3日(日)

10:00~16:00

10:00 バザー (13:00まで)

13:30 開会式

人権作文発表

小・中・高の各校から 1名ずつ発表

14:20 人権・同和教育講演会

演題 「みんなの幸せをめざして」

講師

松山市人権啓発課指導員

大島 進 さん

◎こんなとき隣保館にきてみませんか!

- ☆育児や子育て、介護などで誰かに相談したいとき
- ☆身のまわりの人権について学習したいとき
- ☆交流活動を通じて出会いと生きがいをみつきたいとき
- ☆こんなサークルや講座をしてほしいと思ったとき



館内展示

幼稚園児・保育園児の作品

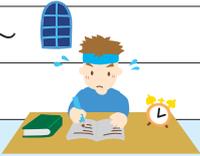
児童生徒の作品

(人権ポスター・人権標語・書道)

2月の行事予定



隣保館行事に
参加しませんか。

日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定
1	金		15	金	
2	土		16	土	
3	日		17	日	
4	月	土居隣保館人権・同和教育講演会 19:00~ ヨガ教室 10:30~	18	月	ヨガ教室 10:30~
5	火	空手教室 19:00~	19	火	空手教室 19:00~
6	水		20	水	
7	木	スローエアロビック 10:00~ 空手教室 19:00~	21	木	空手教室 19:00~ 
8	金	朝日人権フェア【朝日文化会館】 19:00~	22	金	
9	土		23	土	
10	日		24	日	ふれあいのつどい【川之江隣保館】 13:00~
11	月	建国記念日	25	月	各種相談日(内容:職業・人権など) 10:00~ ヨガ教室 10:30~
12	火	空手教室 19:00~ 	26	火	空手教室 19:00~
13	水		27	水	
14	木	スローエアロビック 10:00~ 空手教室 19:00~	28	木	スローエアロビック 10:00~ 空手教室 19:00~